令和６年度　第２回福井市行政改革推進委員会

日　時：令和6年10月9日（水）15時10分～
場　所：福井市役所本館8階　第8会議室AB

会　議　次　第

１ 開 会

２ 議 事

（ １ ） 令和6年度 第1回財政健全化専門部会の会議結果について〔報告〕・・・ 資料1－1，1－2，1－3

（ ２ ） 行財政改革に係る取組について〔協議〕

・「伝わる広報の充実」に向けて ・・・ 資料2

（ ３ ） その他

３ 閉 会

令和5年度福井市決算状況 及び 福井市財政再建計画の総括

資 料 1-1

※財政再建計画（平成30年度～令和5年度）を基本として福井市財政計画（令和4～8年度）を作成しており、その取組について概ね踏襲している。令和5年度の決算までは財政再建計画時の目標額について、結果を財政健全化専門部会に報告する。

1 決算概要

令和5年度普通会計決算状況

（千円）	R5	R4	R5-4 増減	H29（基準）
歳 入	135,786,456	126,286,682	9,499,774	109,538,693
歳 出	132,826,885	123,932,287	8,894,598	108,793,188
形式収支	2,959,571	2,354,395	605,176	745,505
繰越財源	768,276	389,406	378,870	885,052
実質収支	2,191,295	1,964,989	226,306	△ 139,547

2 性質別決算

歳 入（千円）	R5	R4	R5-4 増減	H29（基準）
市税	45,424,092	45,058,422	365,670	44,465,038
地方交付税	14,082,847	13,213,456	869,391	10,904,041
交付金等	9,935,825	9,777,246	158,579	6,883,642
分担金・負担金	212,838	176,087	36,751	444,718
使用料・手数料	1,189,315	1,239,250	△ 49,935	1,546,172
国庫支出金	29,593,126	27,361,454	2,231,672	16,358,952
県支出金	11,708,447	10,896,167	812,280	8,967,454
財産収入	260,244	119,114	141,130	226,805
寄附金	489,910	409,243	80,667	62,692
繰入金	1,094,633	1,043,311	51,322	3,562,048
繰越金	2,354,395	4,094,497	△ 1,740,102	1,310,055
諸収入	3,290,500	3,393,954	△ 103,454	3,239,243
市債	16,150,284	9,504,481	6,645,803	11,567,833
合 計	135,786,456	126,286,682	9,499,774	109,538,693

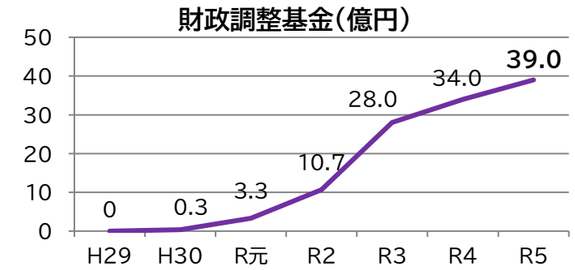
歳 出（千円）	R5	R4	R5-4 増減	H29（基準）
人件費	18,664,485	19,141,593	△ 477,108	18,012,615
扶助費	33,053,014	31,014,805	2,038,209	25,448,892
公債費	13,833,697	14,941,440	△ 1,107,743	12,924,530
物件費	15,683,997	16,253,919	△ 569,922	13,503,300
維持補修費	1,373,238	2,290,606	△ 917,368	4,896,417
補助費等	10,782,417	10,500,059	282,358	8,792,351
繰出金	9,441,669	9,723,132	△ 281,463	9,970,275
投資及び出資金	120,072	239,860	△ 119,788	128,968
貸付金	963,159	970,781	△ 7,622	1,593,905
積立金	1,313,519	659,678	653,841	7,303
投資的経費				
普通建設事業費	27,119,547	17,708,402	9,411,145	13,330,187
災害復旧費	478,071	488,012	△ 9,941	184,445
合 計	132,826,885	123,932,287	8,894,598	108,793,188

3 財政指標

①財政調整基金

目標 30億円以上

《参考》財政計画目標 50 億円以上（R8）

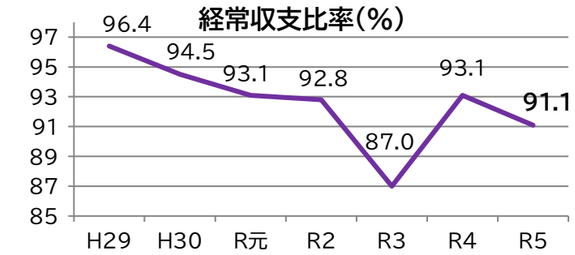


R5－R4 の増減理由

◆R5.12 月補正で R4 年度決算剰余金の一部（5 億円）を積み立てた

②経常収支比率

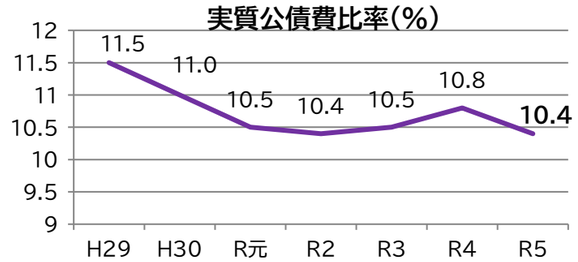
目標 93%以下



◆歳入では、市税収入や普通交付税の増。歳出では、定年引上げによる退職手当や繰上償還による公債費の減により、2.0 ポイント減少した

③実質公債費比率（3か年平均）

目標 10%以下

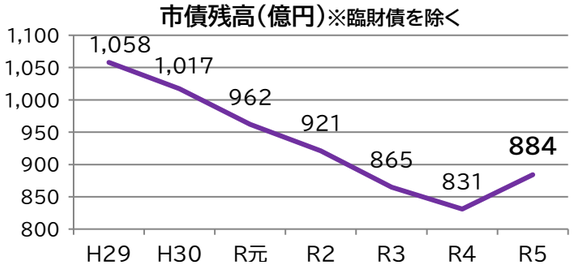


◆R４年度の繰上償還による公債費の減により、0.4 ポイント減少した

◆単年度の実質公債比率は、9.8%であり、目標を達成した

④市債残高

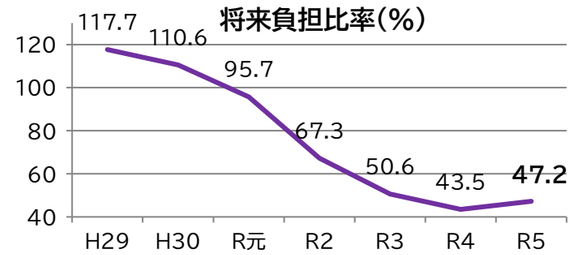
目標 850 億円以下



◆新学校給食センター整備や新ごみ処理施設整備などの大型公共事業の事業進捗により、53 億円増加した

⑤将来負担比率

目標 90%以下

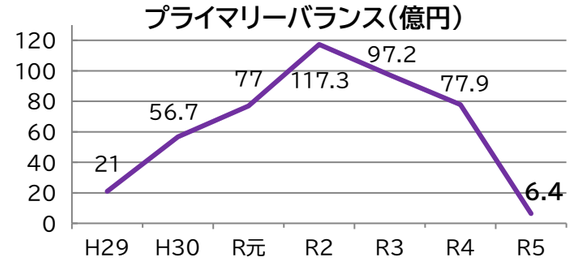


◆大型公共事業の事業進捗による市債残高の増により、3.7 ポイント増加した

◆今後、新ごみ処理施設整備等の事業進捗により、市債残高が増加し、将来負担比率の増が見込まれる

⑥プライマリーバランス

目標 黒字



◆収支均衡した財政構造の継続により黒字を維持したが、市債発行額が大きく増加したことにより黒字幅は減少した

4 取組成果（基金繰入に頼らない収支均衡した安定した財政構造を確立するための取組）

① 事業費の縮減

取組内容

○事業費の見直し

H30 年度に予定されていた大型公共事業

事業名	現況
文化会館整備事業	引き続き先送り
水道記念館保全活用事業	引き続き先送り
三秀園跡界隈再整備事業	事業着手 （R6 基本構想策定）
みらくる亭大規模改修事業	民間譲渡（R4）

事業名	現況
消防庁舎建設事業	整備済：北分署（R2） 川西分署（R3） 整備中：南消防署（R2～）
新学校給食センター整備事業	整備済（R5）
フットボールセンター建設事業	整備済（R5）
市立図書館リニューアル事業	整備済（R5）

物件費、補助費の一般財源額の縮減

個別予防接種の積極的勧奨の再開や物価高騰による光熱費等の増　（単位：百万円）

	R1 当初予算	R2 当初予算※	R3 当初予算	R4 当初予算	R5 当初予算
一般財源額	14,585	13,925	13,553	13,730	14,509
目標額	14,802	13,495	13,495	13,495	13,495
差	▲217	430	58	235	1,014

※会計年度任用制度の導入による賃金廃止のため見直し

○補助金の見直し

・H31 年度から実施した団体補助金の一律削減（10％）は、令和 5 年度で終了した。

・令和6年度の団体補助金については、各所属を通じて対象団体に聴き取りを行うなど、丁寧に状況把握を行った結果、以下の対応としている

増　　額：　6件（会費値上げや団体等からの持出しがあったもの）

減　　額：　1件（新型コロナ感染症対策で臨時的に増額していたもの）

現状維持：101件（活動に支障がなかったもの）

○繰出金の見直し

国民健康保険特別会計※1、下水道事業会計への繰出金縮減額　（単位：百万円）

	R1 当初予算	R2 当初予算※2	R3 当初予算	R4 当初予算	R5 当初予算
国民健康保険	50	100	100	100	50
目標額	50	50	50	50	－
下水道事業	100	100	100	100	100
目標額	100	100	100	100	100

※1　累積赤字解消分　　※2　国民健康保険特別会計の黒字化に伴い縮減幅を増（R2～4）

○その他

福井市総合行政システム関連経費（本体契約金額）の削減

第1～2期（H22～R1）　運用平均額　8．00億円

第3期（R2～6）　　運用平均額　7．12億円

継続借地料の見直し

固定資産税評価替え（3年ごと）に合わせて借地料を改定

R3　630,628 千円　（H30 比　約▲35,000 千円）

② 総人件費の縮減

取組内容

○職員数の適正化

職員数（人）	R1	R2	R3	R4	R5
実配置数	2,327	2,312	2,268	2,274	2,261
計画値	2,338	2,325	2,300	2,287	2,268
差	▲11	▲13	▲32	▲13	▲7

○級別職員数の適正化

昇任に係る必要在位年数の見直し

R1年度の昇任時から　4級（副主幹）　4年→5年　、　5級（主幹）　5年→4年

昇任に係る試験運用の見直し

R2年度の昇任時から　選抜試験を課長補佐昇任時　→　主幹昇任時

○等級別基準職務表の適正化

職務と給料等級が適正となるよう見直し

R1 年度の昇任時から　副理事　8級　→　7級（職責に応じて）　、　課長補佐　6級　→　5級

8級、6級職員数の推移

職員数（人）	H30	R1	R2	R3	R4	R5
8 級	49	36	26	27	35	32
6 級	306	288	221	203	187	178

○働き方改革の取組推進

・R3、4は、新型コロナ感染症に係る保健所業務やマイナンバーカード業務の全庁応援体制により増

時間外勤務の総時間数

	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
総時間数	369,511	300,135	271,890	224,690	266,226	275,670	272,366
H29比	－	▲69,376	▲97,621	▲144,821	▲103,285	▲93,841	▲97,145

○給与体系の見直し

給料表の運用の見直し

・給料表の号給継足し　R1 年度から廃止

・現給保障　R1 年度は2分の1、R2 年度から廃止

各種手当の見直し

・保育業務手当、幼児保育手当　R1 年度から月額　→　日額　に変更

・汚染作業手当　R3 年度から廃止

③ 施設管理経費の縮減

取組内容

○施設マネジメントアクションプラン

・R1年度に施設マネジメントアクションプランを策定し、施設再編を推進　※詳細は資料2

（単位：㎡、施設）

	H30	R1	R2	R3	R4	R5
総延床面積	1,006,764	1,002,538	989,656	980,623	962,186	958,093
前年度比	－	▲4,226	▲12,882	▲9,033	▲18,437	▲4,093
総施設数	396	392	387	380	375	368
前年度比	－	▲4	▲5	▲7	▲5	▲7

④ 投資的経費の抑制

取組内容

○大型公共事業（p2　①事業費の縮減　事業費の見直しのとおり）

○投資的経費の縮減

普通建設事業費（一般財源）　（単位：百万円）

	R1 当初予算	R2 当初予算	R3 当初予算	R4 当初予算	R5 当初予算
一般財源額	674	888	1,097	1,349	1,066
目標額	911	910	910	910	910
差	▲237	▲22	187	439	156

・R3　私立教育・保育施設等整備補助事業、福井駅（東口）拡張施設整備事業等の増

・R4　新ごみ処理施設整備事業　及び　市街地再開発事業等支援事業の事業進捗、
　　北部地域学校規模適正事業　及び　市立図書館リニューアル事業等の事業着手による増

・R5　新ごみ処理施設整備事業　及び　市街地再開発事業等支援事業の事業進捗、
　　新学校給食センター整備事業の事業着手による増

⑤ 公債費の縮減

取組内容

○市債の新規借入額の抑制

・投資的経費（普通建設事業費）の増加に伴い新規借入額が増

（単位：百万円）

	R1	R2	R3	R4	R5
新規借入額 （交付税措置なし分）	3,817 （1,173）	4,856 （501）	3,455 （170）	6,942 （1,178）	14,539 （5,507）
目標額	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
差	▲1,183	▲144	▲1,545	1,942	9,539

○繰上償還の実施（福井市財政再建計画に掲げていない取組）

・後年度の公債費の負担軽減のため、決算剰余金の一部を財源に繰上償還を実施

　R4　1,407 百万円　、　R5　714 百万円

⑥ 歳入の確保

取組内容

○収納率の向上

現年度課税分の市税収納率

	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
収納率（%）	98.9	99.2	99.2	98.9	99.6	99.5	99.5
目標値	－	99.0	99.2	99.4	99.5	99.5	99.5

○入湯税の見直し

・R3.4 月から税率を 100 円 → 150 円に改定（新型コロナ感染症の影響を鑑み、改定時期を6か月延長）

	R2	R3	R4	R5
入湯税額（千円）	27,029	62,177	74,237	86,971
R2 比	－	35,148	47,208	59,943

○使用料等の見直し

・許可事業者がクリーンセンターに搬入する一般廃棄物処理手数料の減免措置　平成30年度に廃止

・消費税引上げ（R1）や物価高騰等による市民生活への影響を鑑み、施設使用料高齢者減免の見直しは保留

○財産収入の確保

施設名	方向性	検討内容	実　績
ジュニアグラウンド	売却	全敷地を売却	売却　1,156,588 千円
大和紡績跡地	貸付	民間提案制度を活用し、 未利用地のうち一部を貸与	民間提案制度を活用し 募集したが、成立事案なし
市庁舎地下食堂スペース	貸付	公募によりコンビニ等を誘致	貸付　約 2,000 千円/年

○その他収入の確保

ふるさと納税の推進　（単位：千円）

	H30	R1	R2	R3	R4	R5
歳入	118,235	317,282	316,840	375,209	345,640	443,474
歳出	36,423	113,377	111,307	152,238	168,523	215,085
歳入-歳出	81,812	203,905	205,533	222,971	177,117	228,389

広告料収入、ネーミングライツ　（単位：千円）

H30	R1	R2	R3	R4	R5
17,570	13,167	13,027	11,621	13,352	11,840

○収益事業収入の増額

競輪特別会計からの繰入金　（単位：百万円）

H30	R1※	R2	R3	R4	R5
100	0	170	150	230	330

※新型コロナ感染症の影響により全国の競輪場で開催中止等となり、売上が大幅に減少

福井市施設マネジメントアクションプラン第１期の進捗状況

資料1-2

	施設名称	延床面積	方向性	進捗状況（第1期期間） R元 R2 R3 R4 R5	これまでの取組内容　※最新の状況を記載
1	旧越廼保健センター	348㎡	転用		令和元年度から福井市健康管理センター及び清水健康管理センターへ機能を集約化し、既存施設は越廼公民館に転用した。
2	おさごえ民家園	1,165㎡	コスト削減		令和元年度から管理体制の見直しを行った。
3	地域交流プラザ	9,710㎡	複合化（維持）		令和元年１０月から市庁舎第２別館の庁舎機能を複合化した。
4	国民宿舎鷹巣荘	1,864㎡	民営化		公募型プロポーザルを実施し、令和２年度から民営化した。
5	野外趣味活動施設（フィッシングセンター跡地）	436㎡	機能廃止		令和２年度から機能を廃止し、同年度から財産有効活用民間提案制度（以下、民間提案）により事業者から利活用の提案を募集しているが、現時点で応募はなし。（＊）
6	越前水仙の里公園（浜北山町）（水仙ミュージアム）	1,492㎡	機能廃止		令和２年度から機能を廃止し、同年度から民間提案により事業者から利活用の提案を募集しているが、現時点で応募はなし。（＊）
7	きらら館	1,350㎡	集約化（維持）		令和２年度からきらら館へ清水社会福祉センター及びマイドーム清水の機能を集約化した。 清水社会福祉センターは令和２年度に解体した。（マイドーム清水は令和６年度に無償譲渡）
8	清水社会福祉センター	1,268㎡	集約化（廃止）	解体済	
9	マイドーム清水	993㎡	集約化（廃止）		
10	マイファーム清水	120㎡	コスト削減		マイドーム清水の廃止に伴い、指定管理者制度の導入をやめ、財政負担がないよう管理運営内容の見直しを行った。
11	越廼公民館	1,296㎡	複合化（維持）		令和２年度から越廼公民館へ庁舎機能を複合化した。 旧越廼総合支所は今後解体する予定である。
12	越廼総合支所	1,121㎡	複合化（移転）		
13	順化小学校	6,356㎡	複合化（維持）		令和２年度から順化小学校へ公民館機能を複合化した。 旧順化公民館は令和３年度に解体した。
14	順化公民館	1,084㎡	複合化（移転）	解体済	
15	中藤屋内運動場	1,688㎡	コスト削減		令和２年度から他のスポーツ施設に合わせて指定管理者制度の導入を行った。
16	企業局庁舎（現上下水道局庁舎）	5,302㎡	利用促進		ガスショールームの利活用に向けて、令和元年度に公募により民間事業者を選定し、令和２年７月から令和６年３月まで当該箇所を貸付した。（現在は会議室として利用）
17	芦見生涯教育施設	2,435㎡	利用促進		未利用スペースの利活用に向けて、令和元年度民間提案により民間事業者を選定し、令和２年７月から当該箇所を貸付している。
18	旧足羽保育園	963㎡	集約化（廃止）	解体済	令和２年度に倉庫機能を集約化し、既存施設は令和３年度に解体した。土地は公募により令和５年度に売却した。
19	旧麻生津西保育園	559㎡	集約化（廃止）	売却	令和２年度に倉庫機能を集約化し、既存施設は令和４年７月に売却した。
20	研修センター	1,851㎡	機能廃止	解体済	令和３年度から機能を廃止し、同年度に解体した。土地は公募により令和５年度に売却した。
21	みやま長寿そば道場ごっつおさん亭	525㎡	機能廃止		令和３年度から機能を廃止し、同年度から民間提案により事業者から利活用の提案を募集しているが、現時点で応募はなし。（＊）
22	そば工房木ごころ	75㎡	機能廃止		令和３年度から機能を廃止し、従前からの管理運営団体に貸付している。
23	森田分遣所	150㎡	集約化（廃止）	解体済	整理統合に向けて、令和２年度に北分署を建設した。 森田分遣所は令和３年度に解体した。 河合分遣所は令和３年度から河合分団本部に転用した。
24	河合分遣所	158㎡	転用		
25	治水記念館	738㎡	集約化（廃止）		令和３年度から防災センターへ機能を集約化した。既存施設は学童保育施設として一部活用している。
26	清水健康管理センター	3,078㎡	複合化（維持）		令和３年度から清水健康管理センターへ庁舎機能を複合化した。 旧清水総合支所は倉庫に転用した。
27	清水総合支所	2,916㎡	転用		
28	一乗ふるさと交流館	498㎡	転用		令和３年度から一乗ふるさと交流館を一乗公民館に転用した。 旧一乗公民館は令和３年度に解体した。
29	一乗公民館	285㎡	転用（移転）	解体済	
30	少年自然の家	4,717㎡	コスト削減		令和３年度から指定管理者制度の導入を行った。
31	文化会館	5,439㎡	方針決定		新文化会館が開館するまでの間、フェニックス・プラザを代替施設とし、令和２年度末で閉館した。既存施設は現在解体工事中である。
32	すかっとランド九頭竜	8,901㎡	方針決定		令和３年６月から機能を廃止し、同年度民間提案により民間事業者を選定し、令和５年１０月から施設の一部を貸付している。
33	美山森林温泉みらくる亭	3,671㎡	民営化		公募型プロポーザルを実施し、令和４年度から民営化した。
34	国見岳休養施設	728㎡	集約化（廃止）	解体済	令和３年度に「国見岳森林公園の設置及び管理に関する条例」を廃止し、既存施設は令和４年度に解体した。
35	大安寺分遣所	82㎡	転用		整理統合に向けて、令和３年度に川西分署を建設した。 大安寺分遣所は令和４年度から大安寺分団本部に転用した。 鵜分遣所は令和４年度から鵜分団本部に転用した。
36	鵜分遣所	133㎡	転用		
37	大安寺キャンプ場	111㎡	機能廃止		関係者の理解等が得られたため、令和５年度に機能を廃止し、既存施設は令和５年度に解体した。
38	川西テニスコート	42㎡	機能廃止		関係者の理解等が得られたため、令和５年度に機能を廃止し、既存施設は現在解体工事中である。
39	美山デイサービスセンター和貴苑	1,051㎡	機能廃止		令和４年度に民間譲渡の公募を行い、西棟は譲渡先が決定した。応募がなかった東棟については、今後、解体する予定である。
40	SSTらんど	846㎡	集約化（廃止）		令和４年度に民間譲渡の公募を行い、譲渡先が決まったことから、令和５年度から民営化した。
41	リズムの森	685㎡	方針決定	解体済	関係者の理解等が得られたため、方向性を集約化（廃止）とし、令和５年度に機能を廃止し、既存施設を解体した。
42	美山庭球場「ウインク」	158㎡	方針決定		関係者の理解等が得られたため、令和５年度に機能を廃止した。

（＊）は、財産有効活用民間提案制度で提案を募集しているが、現時点で応募のないもの

※旧市民福祉会館、さつき児童館、東部保育園については、平成３０年度に解体済。

（4月1日時点）

項目	H30	R元	R2	R3	R4	R5
総延床面積（396施設（H30）の推移）	1,006,764㎡	1,002,538㎡	989,656㎡	980,623㎡	962,186㎡	958,093㎡
面積増減前年度比（累計）	－	△4,226㎡ （△4,226㎡）	△12,882㎡ （△17,108㎡）	△9,033㎡ （△26,141㎡）	△18,437㎡ （△44,578㎡）	△4,093㎡ （△48,671㎡）
総施設数	396	392	387	380	375	368
施設数増減前年度比（累計）	－	△4 （△4）	△5 （△9）	△7 （△16）	△5 （△21）	△7 （△28）

延床面積の減少の考え方

・延床面積の減少は、当該施設における関係条例が廃止又は改正されるなど課題が整理され、かつ民営化や機能廃止など公用又は公共用としての役割を終えた時点とする。
・第１期では、計画の対象となる396施設（H30時）の延床面積3万㎡を削減目標としている。

今後新たに整備予定の施設

・新学校給食センター
・新ごみ処理施設
・九頭竜中学校　等

資 料 1-3

財政健全化専門部会の今後の開催方針

1 財政健全化専門部会の概要

名　　称	福井市行政改革推進委員会　財政健全化専門部会
目　　的	福井市財政再建計画(H30～R5)について、有識者や市民によるチェック体制を整備
期　　間	福井市財政再建計画の計画期間
構 成 員	行政改革推進員(内部委員)、専門委員
開催回数	年2回程度(10月:決算確定時期、3月:予算確定時期)

2 今後の財政運営の懸念事項

(1)大型公共事業の進捗による市債残高の増 及び 金利の増

・交付税措置のない新規借入額の抑制や繰上償還により、市債現在高は福井市財政計画の推計値を下回っている

・しかしながら、大型公共事業の進捗により新規市債発行額が増加傾向にあり、今後、新ごみ処理施設整備事業や九頭竜中学校整備事業などの事業進捗により、さらなる市債現在高の増加が見込まれる

・また、日本銀行のマイナス金利解除に伴う金利(利子)の増も見込まれる

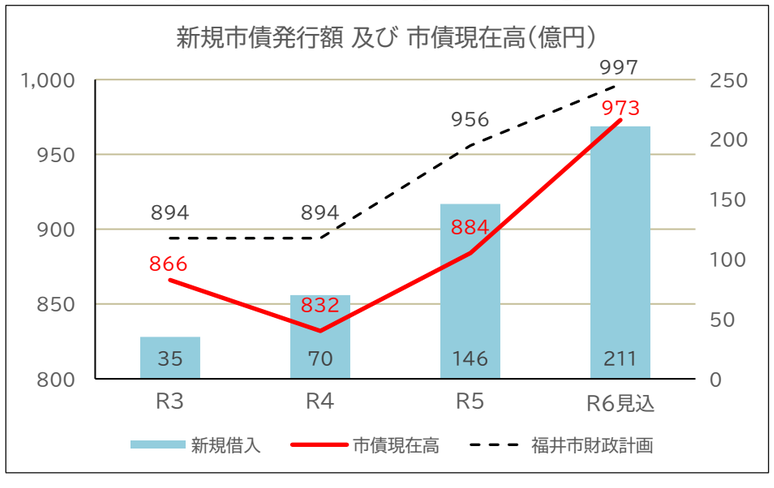
●令和5年度に完了した主な大型公共事業

事業名	市債発行額(百万円)
新学校給食センター整備事業	4,074
フットボールセンター建設事業	359
市立図書館リニューアル事業	915
東安居団地整備事業(D 棟)	394

●新規借入利率

年度	利率
R3	0.369%
R4	0.765%
R5	0.856%

●新規市債発行額 及び 市債現在高 ※臨時財政対策債を除く



(2)国・県の給与改定に関する勧告等の状況を踏まえた職員給与費の増

年度	人事院勧告内容		一般会計補正額(億円)
	月例給(民間給与との較差)	ボーナス	
R3	改定なし(0.00%)	0.15 月分 減	▲1.6
R4	初任給及び若年層を引上げ(0.23%)	0.10 月分 増	+1.3
R5	初任給を始め若年層に重点を置いて引上げ(0.96%)	0.10 月分 増	+3.5

※R6 年度においても、民間給与との較差を解消するための月例給の引上げ改定や民間の支給状況に見合うようボーナスの支給月数の引上げなどが人事院から勧告されている

3 今後の専門部会の開催方針案

・福井市財政計画(R4～8)の期間中についても継続して開催
(令和9年度に、計画期間最終年度(R8)の決算等を報告)

・福井市財政再建計画に掲げる目指す水準は、概ね達成されたことから、次回からは名称を「持続可能な財政運営専門部会」に変更して開催

名　　称	福井市行政改革推進委員会　持続可能な財政運営専門部会
目　　的	福井市財政計画(R4～8)について、引続き有識者や市民によるチェック体制を整備
期　　間	福井市財政計画の計画期間
構 成 員	行政改革推進員(内部委員)、専門委員
開催回数	年2回程度(10月:決算確定時期、3月:予算確定時期)

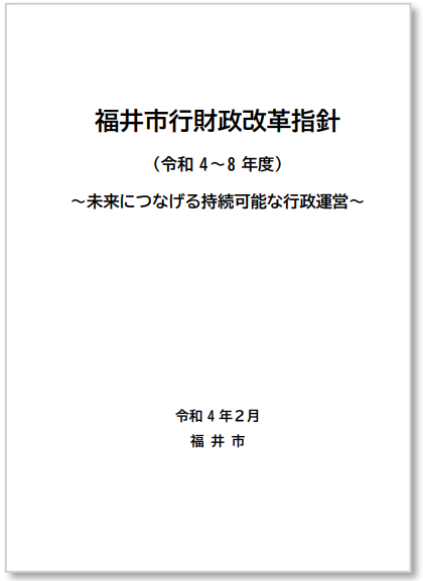
資料2

「伝わる広報の充実」に向けて

福井市行政改革推進委員会
令和６年10月

■資料構成

本市の考え方や取組 … 3
現状分析 …19
課題の整理・対応策の方向性 …30
今後の対応案 …32



福井市行財政改革指針

（令和 4～8 年度）

～未来につなげる持続可能な行政運営～

令和 4 年2月
福 井 市

15 「伝わる広報」を意識した情報発信の充実 （関係所属）広報課

取組目標 「伝わる」広報とするための情報発信力の向上

内 容

・広報研修会等を開催し、職員の広報力向上を図る
・閲覧しやすいホームページの再構築や、複数の広報手段※を用いた効果的な発信（クロスメディア）に取り組む ※広報紙、テレビ、ラジオ、ホームページ、各種SNS、報道機関への情報提供 等

取組評価

数値目標 クロスメディア件数（広報媒体間の連動件数）（件）

年度	R4	R5	R6	R7	R8
目標	1,800件以上	2,100件以上	2,300件以上	2,400件以上	2,500件以上
実績	1,820件	2,134件	－	－	－

具体的な内容として…

主な取組

■ 対象、年代に合わせSNSなど複数の広報手段を活用した情報発信
■ 職員研修の実施
（庶務、広報担当者（4～6月）、動画作成（5月）、広報・PR術（11月）ホームページ（1月）など）
■ 見やすさを重視したホームページのリニューアル（2月）
■ LINEとの連携およびセグメント配信などの機能拡充（LINE登録キャンペーン2回実施）

成果のポイント

■ ホームページやSNS等で発信することで、情報が広がりやすくなった
■ 若者を対象に市政について興味関心を持ってもらうことを目的にYouTube「ふくチューバーチャンネル」にて動画26本発信 計22万回再生
■ ホームページリニューアルに伴うLINE登録者数の増加（登録者 約1万5千人（R6.3））

参 考 ～新しくなったホームページ～

今後は…

令和6年度 取組計画

■ 質の高い情報を適時発信できるよう新しくなったホームページを大いに活用し利用者目線に立ったWe b広報を強化していく
■ 全職員が市の広報マンとして活動できるよう、広報マインドの醸成とスキルアップのための研修を行う

27

福井市行財政改革指針（令和4～8年度）では

「「伝わる広報」を意識した情報発信の充実」

を掲げて取り組んでいる

～本日協議いただきたいこと～

広報紙	分かりやすい内容、見やすいデザイン 市民の声を反映した広報紙づくり
SNS・チラシ	効果的な活用方法　分かりやすく見やすいデザイン
全庁的な推進	全職員のスキルアップ方法

本市の
考え方や取組
～伝わる広報に向けて～

市長ビジョンに掲げられた
「ふくいは楽しい！」「ふくいは安心！」「ふくいは元気！」を実現するために

良好なコミュニケーションは
全ての企画・事業等の出発点

by 西行市長

市長をはじめ職員がフットワーク軽く、
市民とのコミュニケーションをはかる

この様子をSNS等で**発信する**ことで
市政の動きや思いを、より身近に、幅広く市民に伝え、
市政に対する**市民の関心や信頼感を高める**

現場の課題を捉えた
効果的な**施策の速やかな実行**につなげる

市民に
本市や市政に関心をもってもらい、

自分ごととして、

それぞれの視点から理解していただけるよう、

また、**主体的に市政に参加**していただけるよう、

情報を発信していく必要がある

今年度からの新たな取組 ～市民とのコミュニケーション編 ～

西行市長がおじゃまします

市長がプッシュ型（市側からの打診）で様々な現場を訪問し、気軽に多様な世代・職種・団体とコミュニケーションを行い、**市民の声を市政に反映**

▲活動ロゴ

▲清明国際交流クラブ 活動見学

▲A.Iコミュニティ 試験品種栽培報告会

▲認定こども園梅圃幼稚園 交通安全教室

▲越廼海水浴場付近
イルミネーション設置

今年度からの新たな取組 ～市民とのコミュニケーション編 ～

『福いいナー！』をさがせ！～楽しい！安心！元気！な福井人

夢を持って福井で頑張っている人・団体等を「福いいナー！」として取材し、
ホームページ、SNS等で掲載

▲福井市公式note

▲活動ロゴ

読者、視聴者が
福井で頑張る方々がいることを身近にとらえ、
「福井（人）はいいね。福いいネ！」
を感じていただく

市民に
福井の良さを実感していただくことで、
福井市を自ら市内外にPRする
（「福いいネ！」の発信）きっかけとする

今年度からの新たな取組 ～職員とのコミュニケーション編～

市長×フィーカ※

※職員から募ったアイデアに基づき若手職員によるプロジェクトチームが市長に提案し、実現した取組のひとつ

市長の思いが職員に十分に伝わること、
また、**職員の考えが市長に伝わる**ことで、**風通しの良い職場環境**が育まれ、
これまで以上に、**効果的な施策の迅速な実行につながることを期待**

参加した職員が聞いてみたいことに
市長がざっくばらんに答える形式

「新しいものは明るい雰囲気でないと
生まれない
本音が語れる風土を作っていきたい」
by 西行市長

▲市長×フィーカの様子

本市の主な取組 ～チラシ等のデザイン改善編～

手に取ってもらうこと
そして、「分かりやすい」「読みやすい」「納得できる」
内容を効果的に伝えるために

福井市×ナッジ

ナッジ(Nudge)とは･･･**「そっと後押しする」**という意味

（行動科学の知見を活用して、人々が自分や社会にとって望ましい行動をとれるよう自発的な行動変容を促すこと）

デザインや**表現**でより良い行動を促すこと

本市の主な取組 ～チラシ等のデザイン改善編～

福井市では

20～30代の職員の有志で結成された**“ナッジ・ユニット”**が中心となり
庁内に普及促進中!!

■設　立：令和5年4月

■人　数：8 人 （企画、EBPM、地域活性化など多様な部署のメンバーで構成）

■実　績：10の取組※を実践（令和5年度） ※認知症の早期発見、木造住宅の耐震化、市民意識調査の回答率向上　etc

＜ナッジを活用したチラシ等のデザイン改善例＞

活動が実を結び・・・

本市のナッジ事例が
環境大臣賞を受賞
（令和6年6月）

祝 ベストナッジ賞 受賞！ 祝

福井市のナッジ事例が 環境大臣賞 を受賞しました

ベストナッジ賞とは？

全国から応募のあったナッジの中から、
特に**優れた取組を表彰**する制度です。

※環境省と行動経済学会が毎年開催

環境省
Ministry of the Environment

行動経済学会
Association of Behavioral Economics and Finance

どんなナッジ事例が評価されたの？

健康管理センターさんとともに「**大腸がん検診**の受診率向上ナッジ」に係る実証実験を行いました。この取組において下記の点が評価されました。

評価ポイント

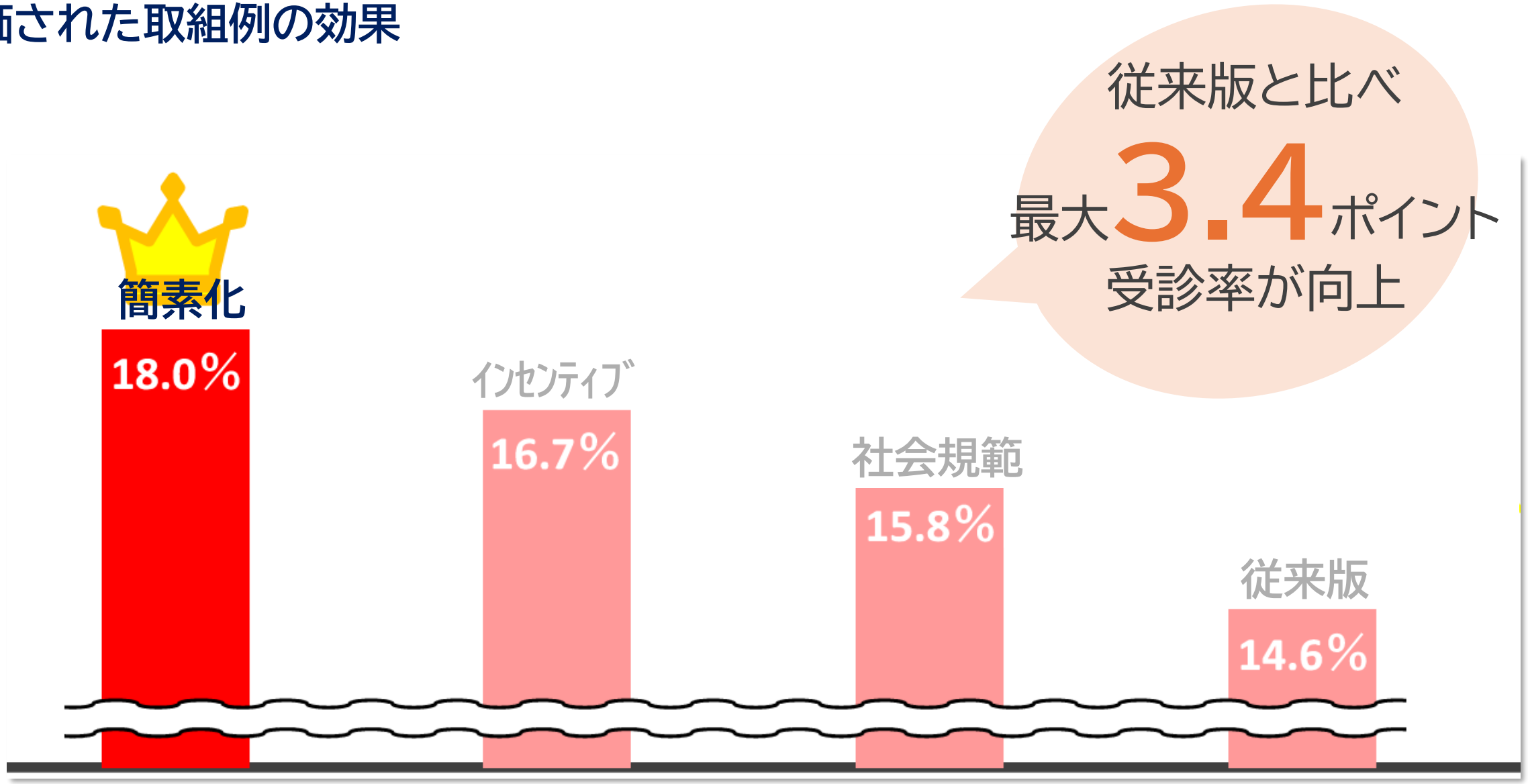
- **得られるエビデンスの質の高い効果検証の手法を用いている点**
  - ➡対象者を無作為に割り振る「ランダム化比較試験」を採用！
- **学識経験者との連携により実施している点**
  - ➡行動経済学や統計学に精通する有識者からのサポート体制を構築！

評価された取組例

対象者に下記4種類のいずれかを送付し

受診率の違いを比較

評価された取組例の効果



本市の主な取組 ～広報媒体～

▲広報紙

広報紙のPoint

- 紙面レイアウトのままPDF、電子書籍として掲載
- 特集ページにちなんだ表紙に！（10日号）
- 市民にスポットを当てることでより身近な紙面に！

▲市長記者会見の様子

市長記者会見のPoint

- モニターを使用し、情報やイメージをわかりやすく視覚化！
- YouTubeにてリアルタイム配信し、見逃した場合はアーカイブ視聴も可能に！

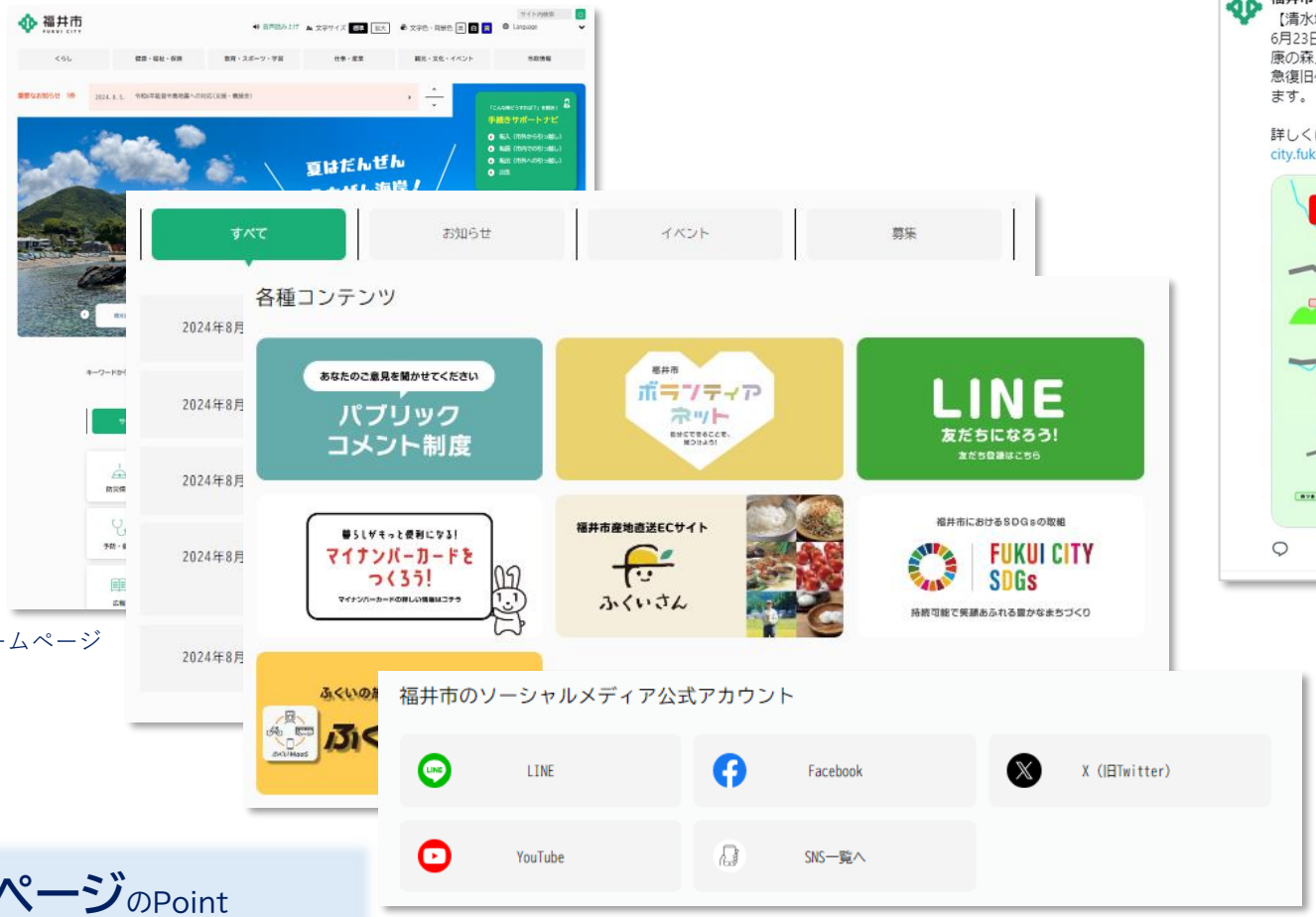
▲市政情報番組「いきいき情報ふくい」
ケーブルテレビの行政チャンネル「ふくチャンネル」より

▲市政情報のコマーシャル
ケーブルテレビの行政チャンネル「ふくチャンネル」より

テレビ番組のPoint

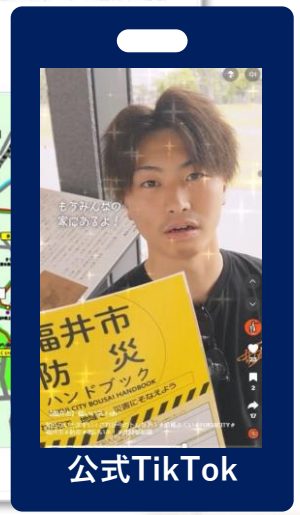
- テレビ番組をそのままYouTube動画として掲載
（ショート版の制作など告知を工夫）
- 市民生活に係る情報をケーブルテレビ内で繰り返し再生！

本市の主な取組 ～広報媒体～



▲市ホームページ

公式X（旧Twitter）



公式TikTok

SNSのPoint

・媒体別の利用者層や即時性・拡散の容易さなど、特徴を分析し、発信ツールを増加！

▲大学生ラジオ番組「ふくチューンラジオ」（R6.7～）

ホームページのPoint

・令和6年2月にリニューアル！
・新着情報や各種コンテンツ、SNS等へのリンクなど、リンク先を一元化！

ラジオ番組のPoint

・福井エフエム放送、福井街角放送で5つのコーナーあり
・市内に通学する学生がパーソナリティーとなり、市の魅力や取組、地域の話題を紹介！
より若い世代にも、市政情報を身近に感じてもらえるよう工夫！

【参考】広報紙の概要

	発行部数	発行回数	色刷り	記事内容
10日号	各87,000部	年12回発行 （１月は１日号）	２色 （表裏面のみカラー）	特集、お知らせ、連載
25日号		年10回発行 （８・１２月を除く）	２色	お知らせ

＜イメージ＞

▲表裏面

▲特集ページ

▲お知らせページ

▲連載ページ

【参考】テレビ番組一覧

■民放

放送局	番組名	内　　容	放送時間	制作数/年
福井放送（ＦＢＣ）	それゆけ！福井市調査隊	探偵に扮したリポーターが市内を巡り調査	15分 土又は日の午後	4本
福井テレビ（ｆｔｂ）	福いっぱいテレビ	市の重要施策や特色ある事業を紹介	15分 土又は日の午後	4本

■CATV

番組名	内　　容	放送時間	更新	制作数/年
いきいき情報ふくい	市の取組や情報を分かりやすく紹介	約20分	毎月１日	12本
福アワセ	市内の景観や文化、食などを、テーマに沿って紹介	約10分	毎月１日	12本
市役所情報局	民放テレビで放送した市の広報番組や様々な啓発ビデオを放送	約15分	毎月１日	－
ふくチャンネル回覧板	イベント情報や市からのお知らせを静止画で放送	5分	毎週土曜日	随時
コマーシャル	各所属の施策やイベントなどのＣＭ	30秒	番組間に随時	3本
元気体操	仕事や家事の合間に簡単にできる「元気体操２１」を放送	5分	－	－
市長記者会見	中継及び再放送	約30分	随時	9本
災害緊急放送	緊急時に緊急Ｌ字文字情報提供装置により、緊急情報を送出	－	災害緊急時	－

【参考】ラジオ番組一覧

（R6年度）

放送局	番組名	内　容	時間	放送日	制作数/年
福井エフエム放送	福井市政ガイド	市の取組やイベントを紹介	5分	毎週日曜 14:55～15:00	52本
福井街角放送	市役所通信	各所属の職員がスタジオで行事情報などの紹介	約10分	毎週金曜 12:20～	52本
	NEW（R6.7～）ふくチューンラジオ	大学生パーソナリティが市の魅力や取組を紹介	約10分	毎週金曜 12:35～	36本程度
	イブニングショット ＦＵＫＵＩ	催事や講座募集などの情報提供	5分	毎週火曜 17:40～17:45	52本
	デイリーＦＵＫＵＩ	催事や講座募集などの情報提供	1分	毎週月～金 8:50～	261本

現状分析

～市民アンケート結果編～

■利用する調査の概要

調査名：令和6年度 第1回 ふくeアンケート

期　間：令和6年6月25日（火）～7月31日（水）

対　象：福井市に住むか通勤・通学する18歳以上の方

方　法：福井県電子申請サービス「ふくeねっと」を利用した
インターネット及び調査票（紙媒体）による調査

回答者数：1,748人

※注意

複数回答の結果は、その設問における回答者数（n＝1,748）に対する各項目の回答者数の割合を表示している

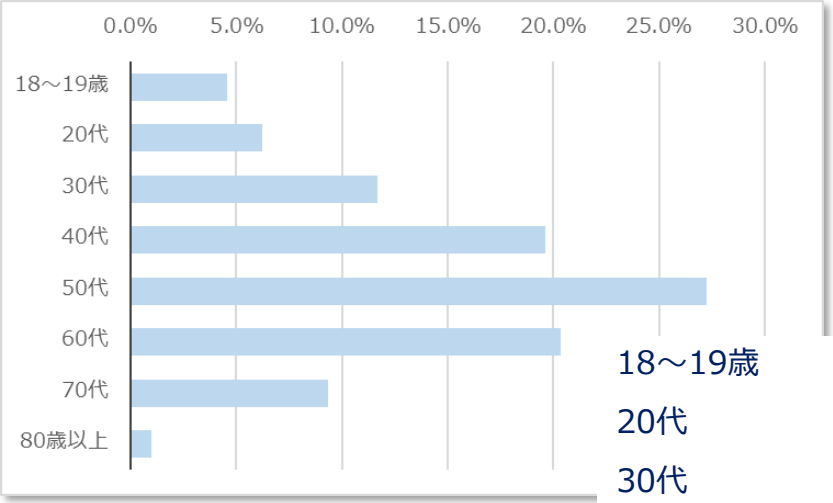
よって、複数回答では、回答の割合の合計は100%を超える

回答者の属性

【性別】

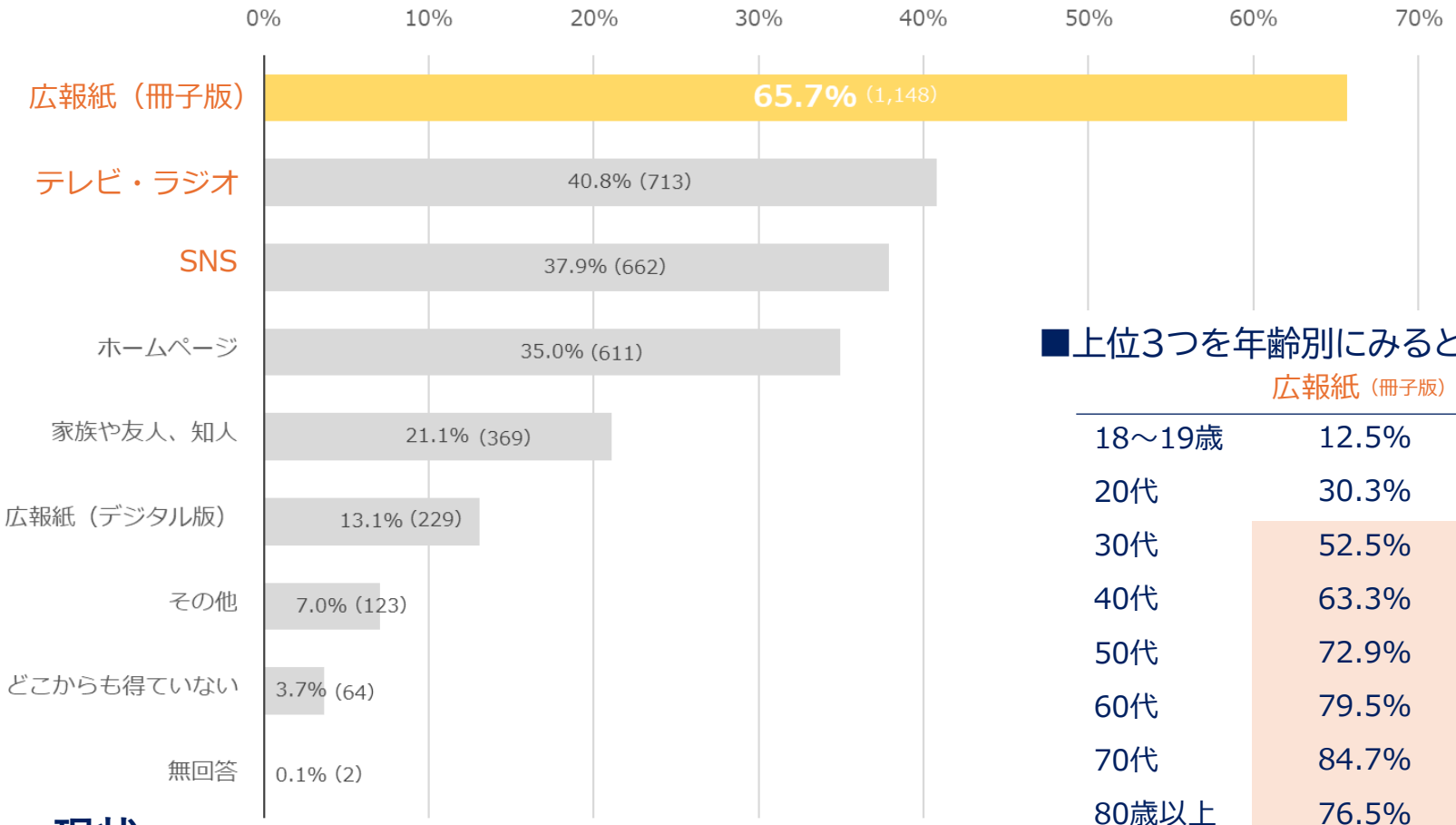
男性（自認する性を含む）	819	46.9%
女性（自認する性を含む）	913	52.2%
分からない・答えたくない	16	0.9%
合　計	1,748人	100.0%

【年齢】



18～19歳	4.6%	（80人）
20代	6.2%	（109人）
30代	11.7%	（204人）
40代	19.6%	（343人）
50代	27.2%	（476人）
60代	20.4%	（356人）
70代	9.3%	（163人）
80歳以上	1.0%	（17人）
合　計	100.0%	

Q 福井市の情報を主にどこから得ているか(複数回答)



■上位3つを年齢別にみると

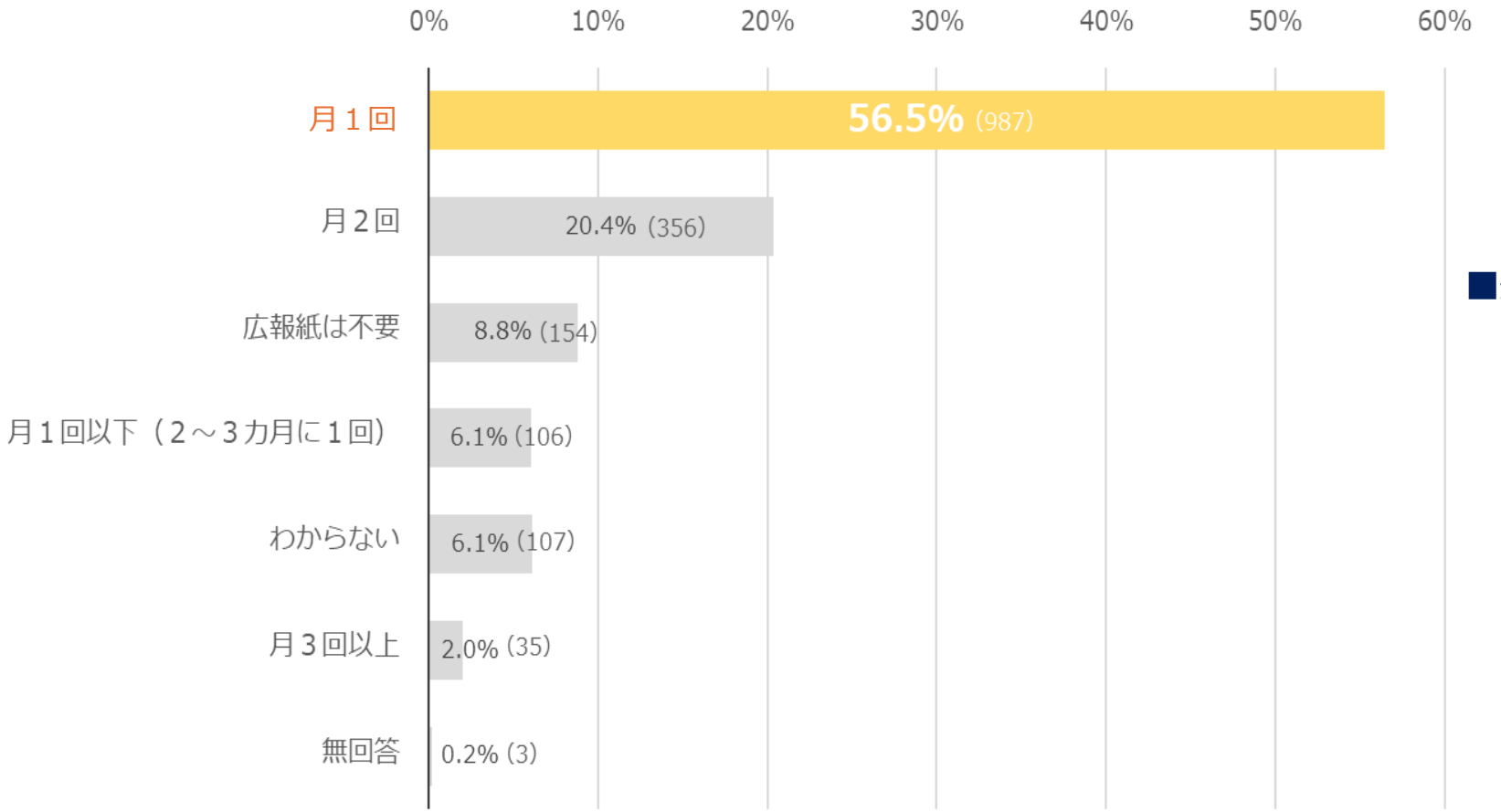
	広報紙（冊子版）	テレビ・ラジオ	SNS
18～19歳	12.5%	40.0%	46.3%
20代	30.3%	33.9%	47.7%
30代	52.5%	30.9%	46.6%
40代	63.3%	36.4%	42.6%
50代	72.9%	40.1%	37.4%
60代	79.5%	46.9%	32.0%
70代	84.7%	55.2%	22.1%
80歳以上	76.5%	47.1%	23.5%

※令和6年度 第1回 ふくeアンケート結果」に基づき作成

現状

- 市の情報は、「広報紙(冊子版)」から入手しているが65.7%と最も多く次いでテレビ・ ラジオ、SNS、ホームページの順である
- 中高年齢者は、広報紙(冊子版)から、また、若年層はSNSから情報を得ている

Q 自治体広報紙の発行回数は、月に何回が適当だと思うか（1つ選択）



■最上位の回答を年齢別にみると

	月１回
18～19歳	48.8%
20代	47.7%
30代	58.3%
40代	58.6%
50代	55.5%
60代	61.8%
70代	50.3%
80歳以上	58.8%

※令和6年度 第1回 ふくeアンケート結果」に基づき作成

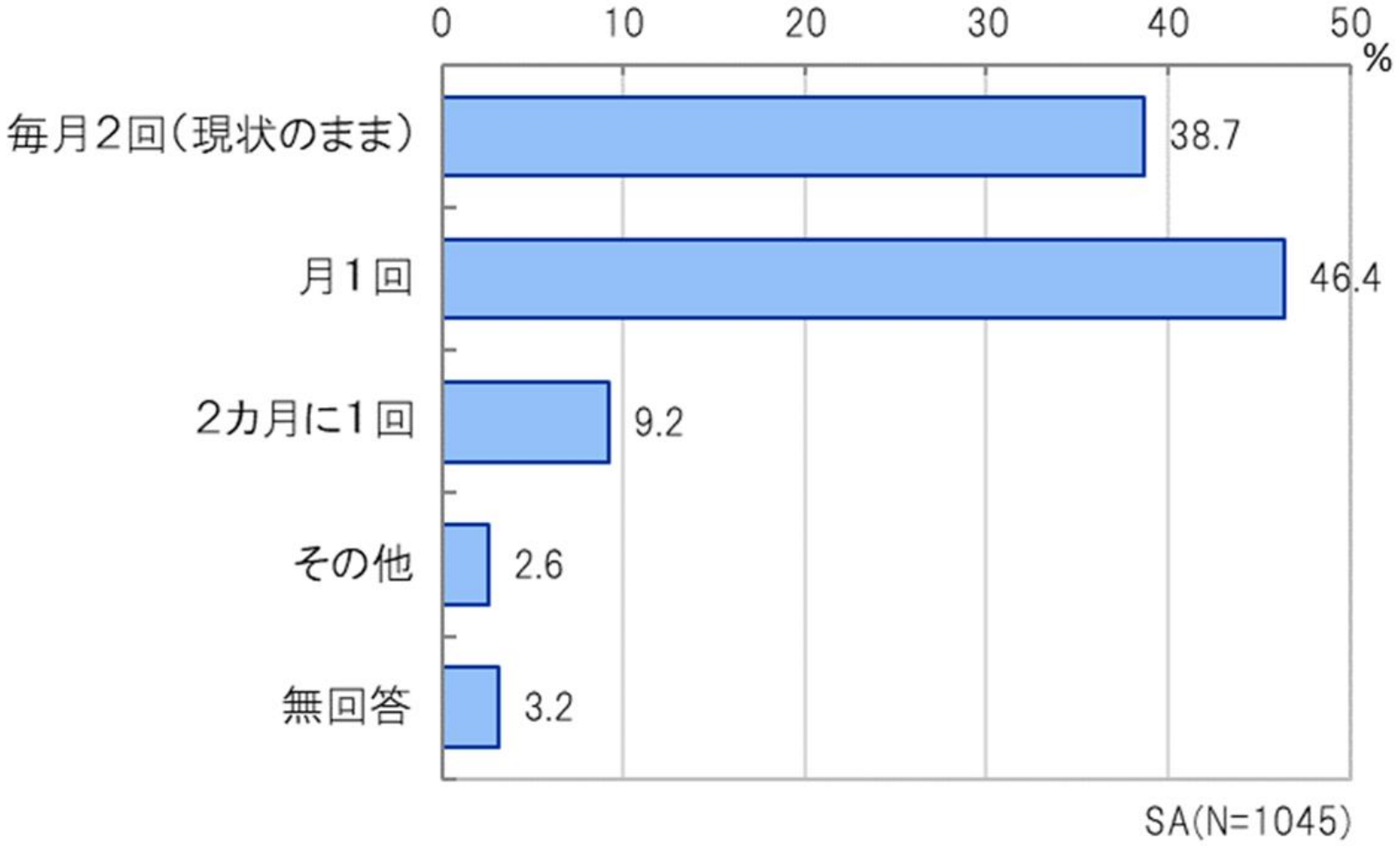
現状

・「月1回」という回答が6割近くであり、現行の月2回という回答は2割程度にとどまる

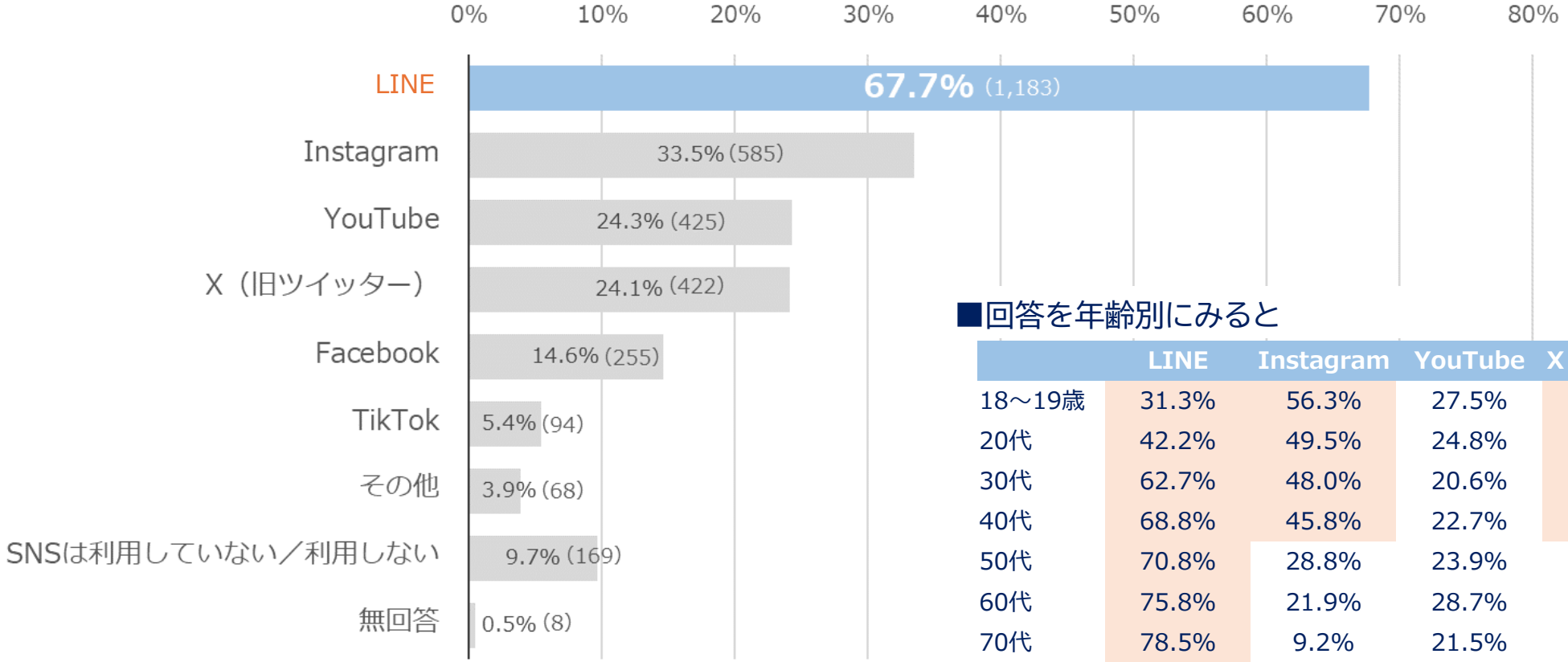
・年齢別でみても、全年齢層において、「月1回」が適当という回答が概ね半数以上である

【参考】令和2年度　福井市民意識調査結果より（対象：市内に住所を有する18歳以上の2,500人）

Q　あなたが、広報紙の発行頻度で適切だと思うのはどれか



Q 福井市の情報を得るために利用している、または利用しても良いと思うSNSは(複数回答)



■回答を年齢別にみると

	LINE	Instagram	YouTube	X（旧ツイッター）	Facebook	TikTok
18～19歳	31.3%	56.3%	27.5%	36.3%	2.5%	27.5%
20代	42.2%	49.5%	24.8%	47.7%	4.6%	11.0%
30代	62.7%	48.0%	20.6%	39.2%	10.3%	3.9%
40代	68.8%	45.8%	22.7%	32.4%	17.8%	4.7%
50代	70.8%	28.8%	23.9%	19.1%	16.2%	4.0%
60代	75.8%	21.9%	28.7%	15.2%	16.6%	3.9%
70代	78.5%	9.2%	21.5%	3.1%	17.2%	1.8%
80歳以上	76.5%	5.9%	29.4%	0.0%	11.8%	0.0%

現状

・市の情報を得るためのSNSとしては、「LINE」が67.7%と最も高く、次いで「Instagram」、「YouTube」、「X(旧ツイッター)」の順で、「LINE」は、高齢者を含めた全世代で高い傾向にある

・「Instagram」、「X」、「TikTok」は比較的若い世代で高い傾向にある

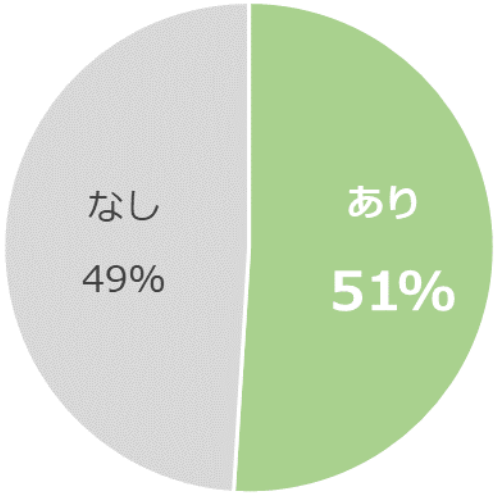
～庁内アンケート結果編～

■利用する調査の概要

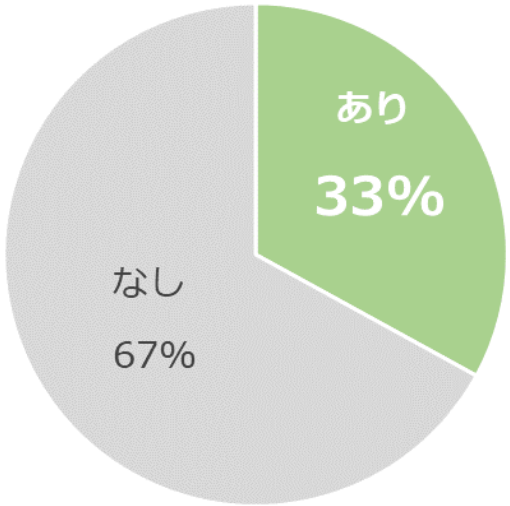
調 査 名:令和6年度 広報プロモーション推進に向けた調査　**期　間**:令和6年6月17日(月)～6月28日(金)
対　象:100所属　**調査項目**:①業務での動画活用状況、②SNSの活用状況、③チラシ・パンフレット制作状況

①業務での動画活用状況

Q 今後、動画を活用する業務の有無



Q 自主制作経験の有無



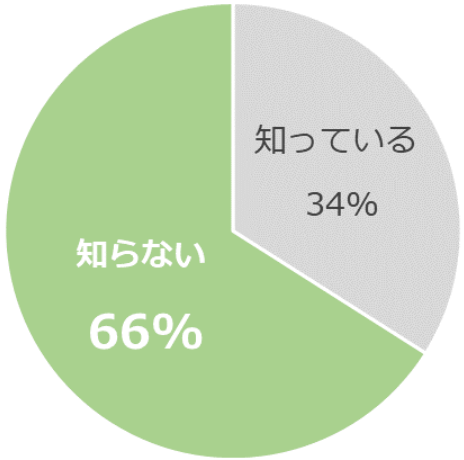
現状

全体の約半数の所属が今後、動画を活用できそうな業務があるのに対し

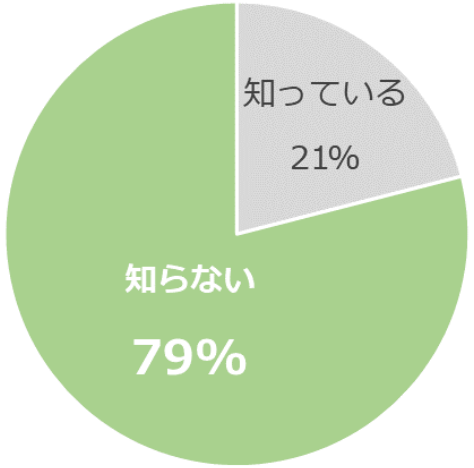
動画を制作したことがある所属は3割程度にとどまる(動画制作に関する需要が見込まれる)

①業務での動画活用状況

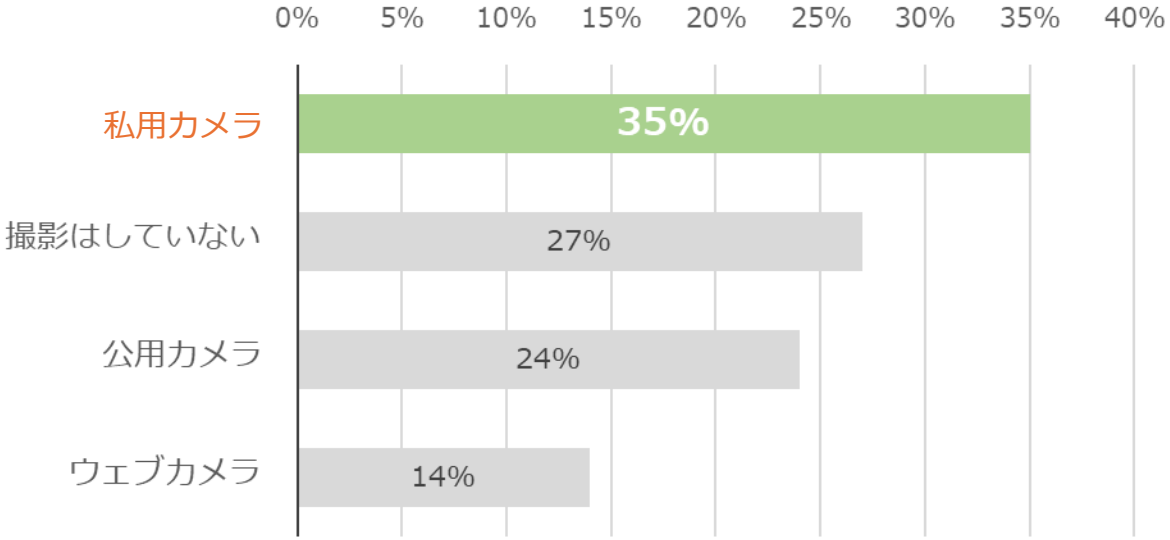
Q パワーポイント動画制作方法



Q 編集ソフト動画の制作方法



Q 撮影方法



現状

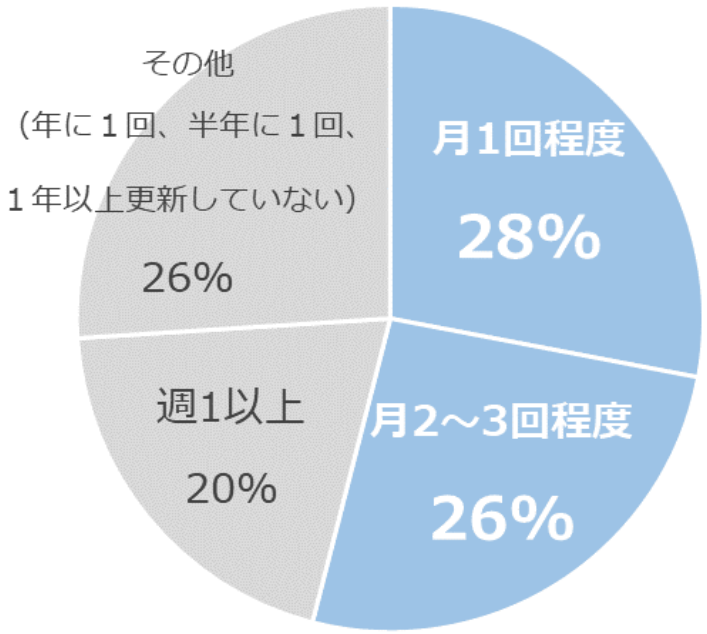
- 7割近くの所属が「パワーポイント動画の制作方法を知らない」と回答
- 約8割の所属が「編集ソフトでの制作方法を知らない」と回答
- 動画制作を行う所属の3割以上が「私用カメラ」を使用

職員の動画のスキルや知識が不足

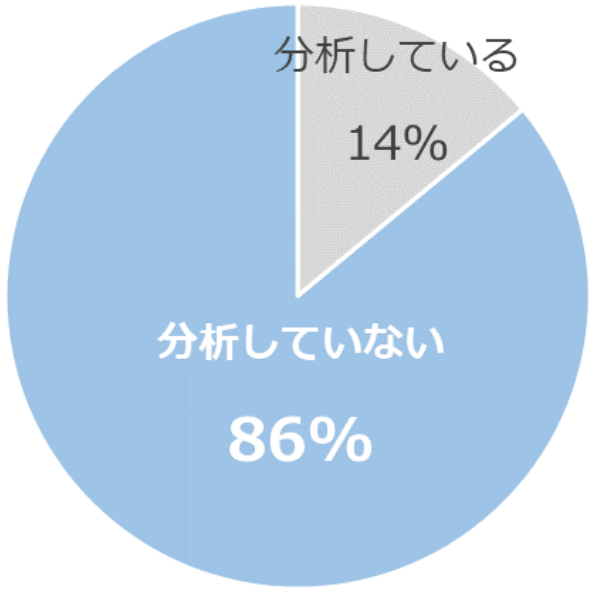
公用の撮影機材等へのニーズが高い

②SNSの活用状況

Q 更新頻度



Q 発信後の分析



現状

更新頻度が全体的に低く、全体の8割以上の所属が発信後の分析をしていない

【参考】各所属で利用するSNSの種類とアカウント数

その他、AIチャットボットなどを活用し、利便性の高い情報提供に努めている

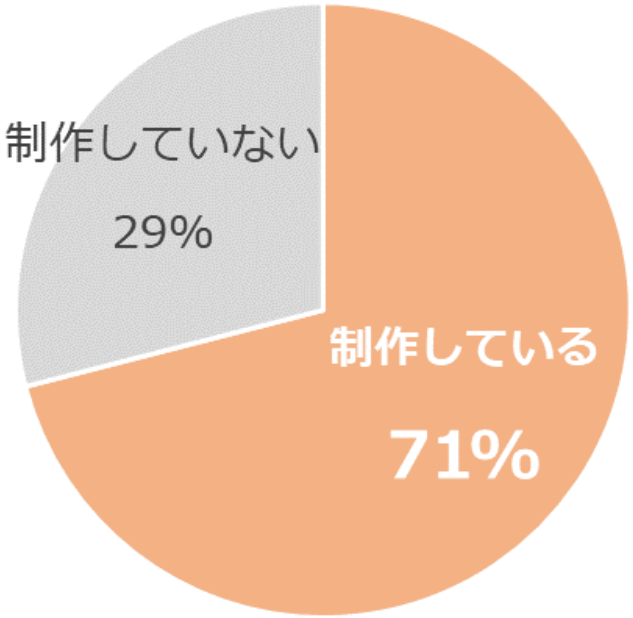
広報プロモーション課が運営する

主なアカウントの登録者（令和6年7月末時点）

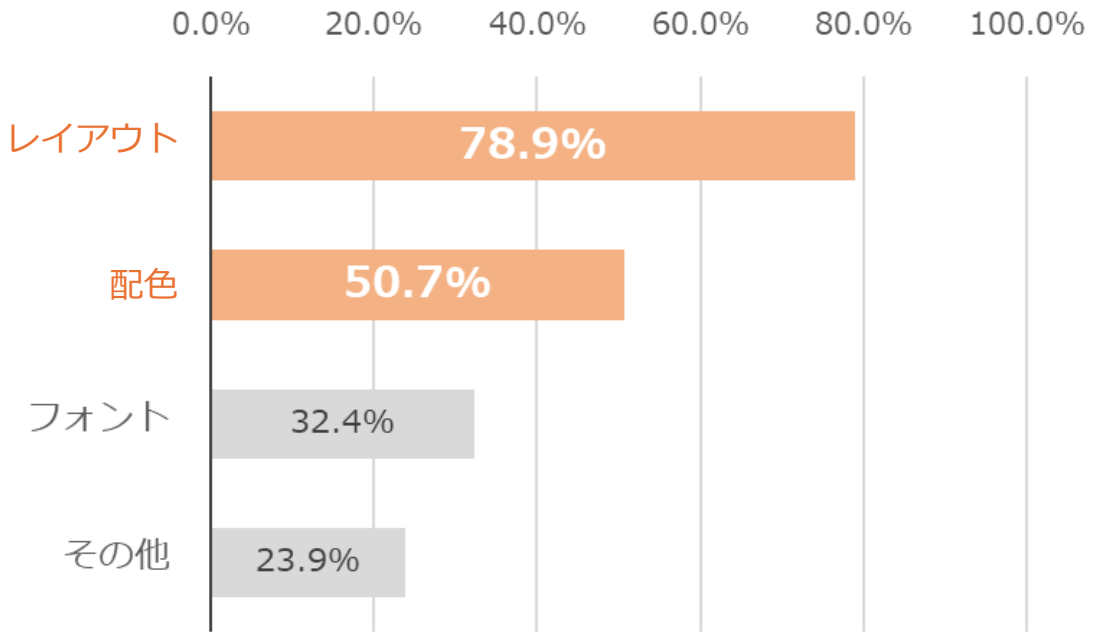
	登録者数
LINE	約15,200人
YouTube	約3,560人 福いいネ！ch：約1,200人
Facebook	約1,400人
X（旧Twitter）	約4,300人

③チラシ・パンフレット制作状況

Q チラシ等の制作状況



Q 制作で難しいと思ったこと



現状

・全体の約7割の所属が、外注も含めてチラシ等を制作している

・その所属の多くが、制作にあたって、主にレイアウトや配色が難しいと感じている

課題の整理
・
対応策の方向性

	現　状	課　題	今後の方向性
広報紙	✓ 市政情報を、広報紙から入手する市民が多い ✓ 広報紙を読む若者が少ない ✓ 広報紙の発行回数は、月1回が適当とする市民が多い	✓ 若者も読みたくなる**分かりやすい内容、見やすいデザイン**にする必要がある ✓ 市民のニーズを踏まえ、**内容等**や**発行回数を見直す**必要がある	**広報紙をリニューアルする** ✓ 分かりやすい内容、見やすいデザイン ✓ 市民の声を反映した広報紙づくり ✓ 発行回数の見直し
SNS等	✓ 若い世代は、SNSから市の情報を入手する傾向がある ✓ 市のSNSは、アカウントが乱立し、更新頻度が低く、発信後の分析がなされていない ✓ 職員の動画やチラシの制作需要は高いが、機材やスキル・知識が不足	✓SNSアカウントを分かりやすく再編し、**全庁的な配信の分析・改善**に取り組む必要がある ✓SNS等の業務に関わる**職員の育成**や**撮影機材の充実などを図る**必要がある	**若者をはじめ市民が利用しやすいSNS等を強化する** ✓ SNSアカウントの整理、分析機能の強化及び改善 ✓ 動画配信の充実に向けた環境整備 ✓ SNSやチラシの内容の充実強化

今後の対応案

今後の対応案（広報紙）～広報紙をリニューアルする～

- 若い世代を含む**市民が分かりやすい内容、見やすいデザイン**にする
- 市民の声を反映した**市民が主役の広報紙づくり**を行う
- **発行回数を見直す**

分かりやすい内容 見やすいデザイン

- 全ページカラー刷りとする
- 市民の視点に立ち、共感を得て、市民が読みたいと思うような特集記事にする

市民の声を反映した広報紙づくり

- アンケート欄を設け、市民から広報紙に関する意見を集める

  福井の産品など、回答者向けプレゼントも用意し、多くの意見を集めるようにする

- 大学生が編集に関わるなど、若者をはじめ市民に共感してもらえる広報紙づくりに取り組む

発行回数の見直し

- 編集業務を集約して紙面の充実を図るため、月1回発行とする
  （令和7年4月号からを検討）
- 発行回数を減らすことにより、自治会や公民館の負担軽減も期待できる

今後の対応案（SNS等）

～若者をはじめ市民が利用しやすいSNS等を強化する～

- ◆ 若者をはじめ市民が利用しやすいSNSやチラシを強化するため、SNSの**分析機能の強化や改善**、動画配信の充実に向けた**環境整備**、SNSやチラシの**内容の充実強化**に取り組む
- ◆ 業務推進のための**デジタル情報発信・企画係の設置を検討**

SNSの整理 分析機能の強化及び改善

- 民間人材を活用し、SNSアカウントを分野ごとに整理統合するとともに、SNSの分析及び改善を進める
- 市ホームページにSNS等専用のポータルサイトを設置し、市民が知りたい情報にたどりつきやすくする

動画配信の充実に向けた 環境整備

- 動画制作の需要に対応できる撮影機材等を整備する
- リアルタイムで情報発信が行える環境を整備する

SNSやチラシの 内容の充実強化

- SNSのアンケート機能を活用し市民ニーズを把握する
- SNSの登録者数増加に向けたキャンペーンを行う
- 民間人材による研修等の実施により、職員のSNS配信及びチラシ作成能力の向上に取り組む

協議のポイント

～本日協議いただきたいこと～

広報紙	分かりやすい内容、見やすいデザイン 市民の声を反映した広報紙づくり
SNS・チラシ	効果的な活用方法　分かりやすく見やすいデザイン
全庁的な推進	全職員のスキルアップ方法